



熊本県の金融経済概観

(2024年11月7日)

1. 概況

熊本県内の景気は、回復している。先行きについては、海外の経済動向や資源価格の動向、企業の賃金・価格設定行動等の影響を注視していく必要がある。

個人消費は、緩やかに回復している。観光は、高水準で推移している。住宅投資、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、はっきりと増加している。生産は、高水準で推移している。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

この間、9月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。

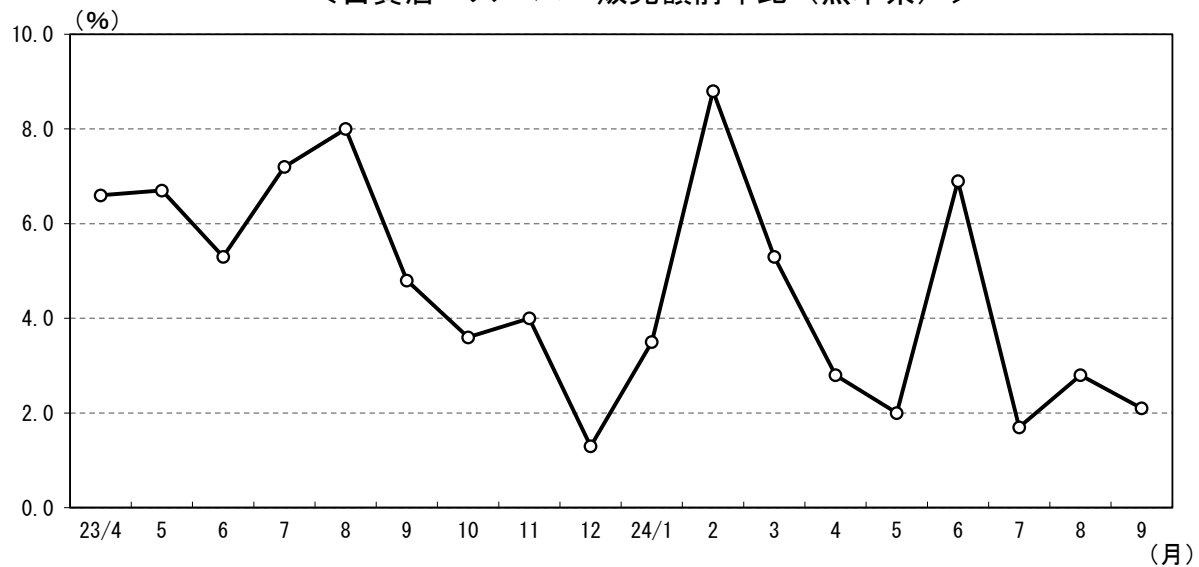
2. 個人消費

個人消費は、緩やかに回復している。

9月の百貨店・スーパー販売額、新車登録台数（含む軽）、家電販売額は前年を上回った。

観光は、高水準で推移している。

＜百貨店・スーパー販売額前年比（熊本県）＞



(注1) 既存店ベース。

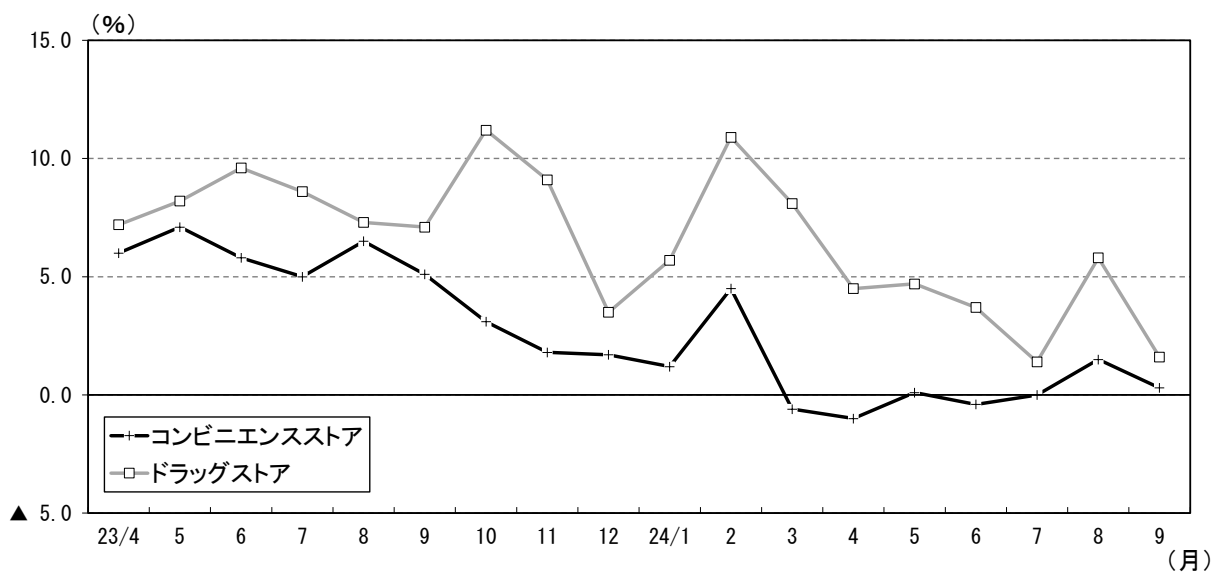
(注2) 当店公表日の2営業日前までに公表された統計の計数を利用（以下同じ）。

(出所：経済産業省)

(月)

9月は速報値

(参考) ＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額前年比（熊本県）＞



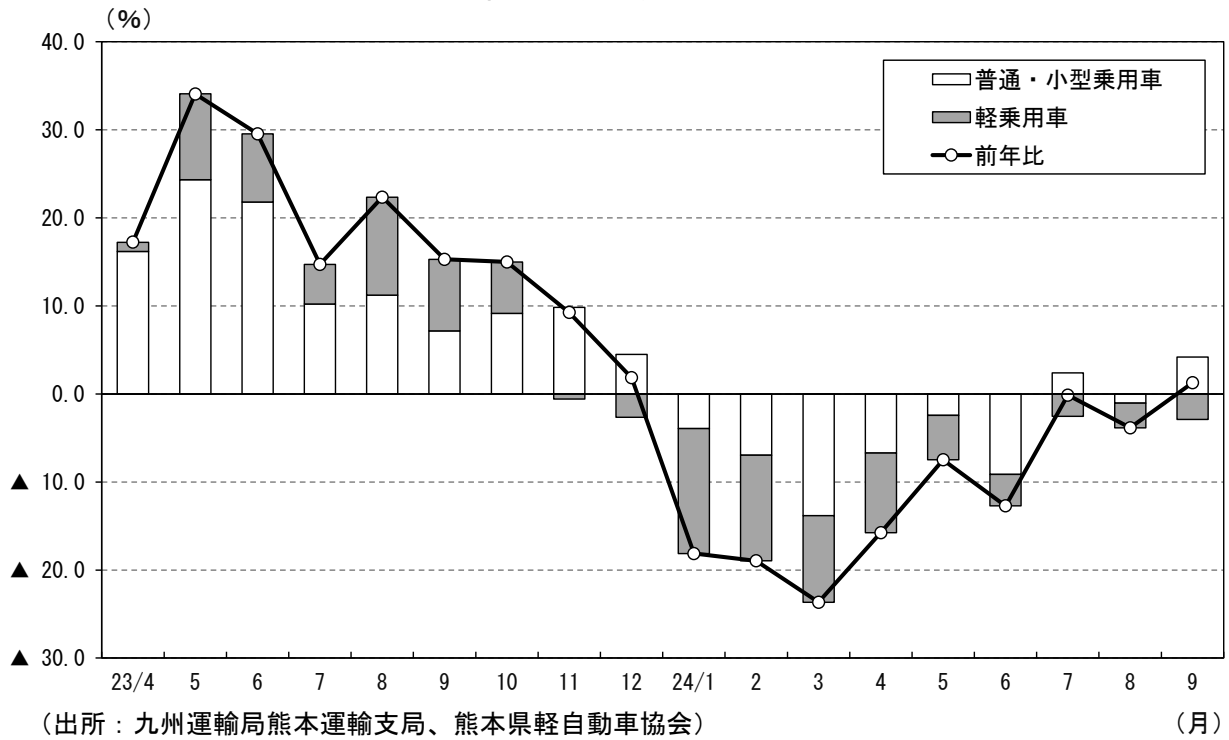
(注) 全店ベース。

(出所：経済産業省)

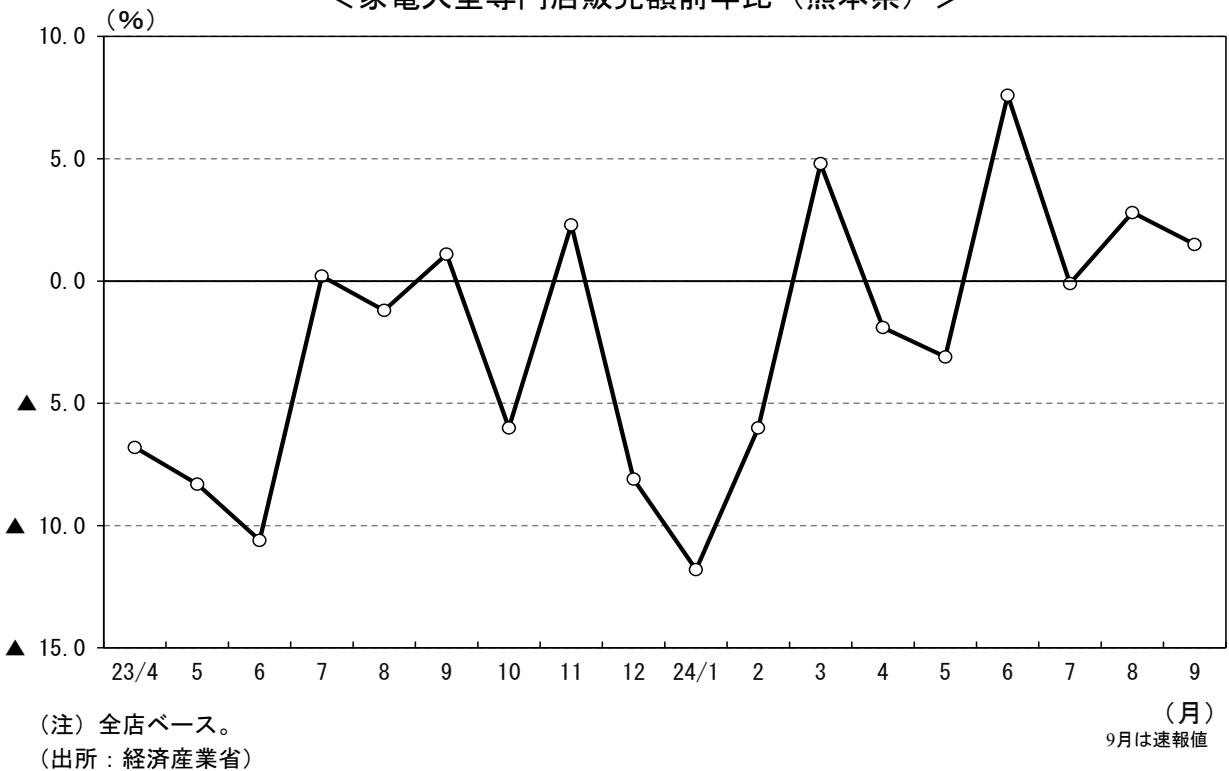
(月)

9月は速報値

＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度（熊本県）＞



＜家電大型専門店販売額前年比（熊本県）＞

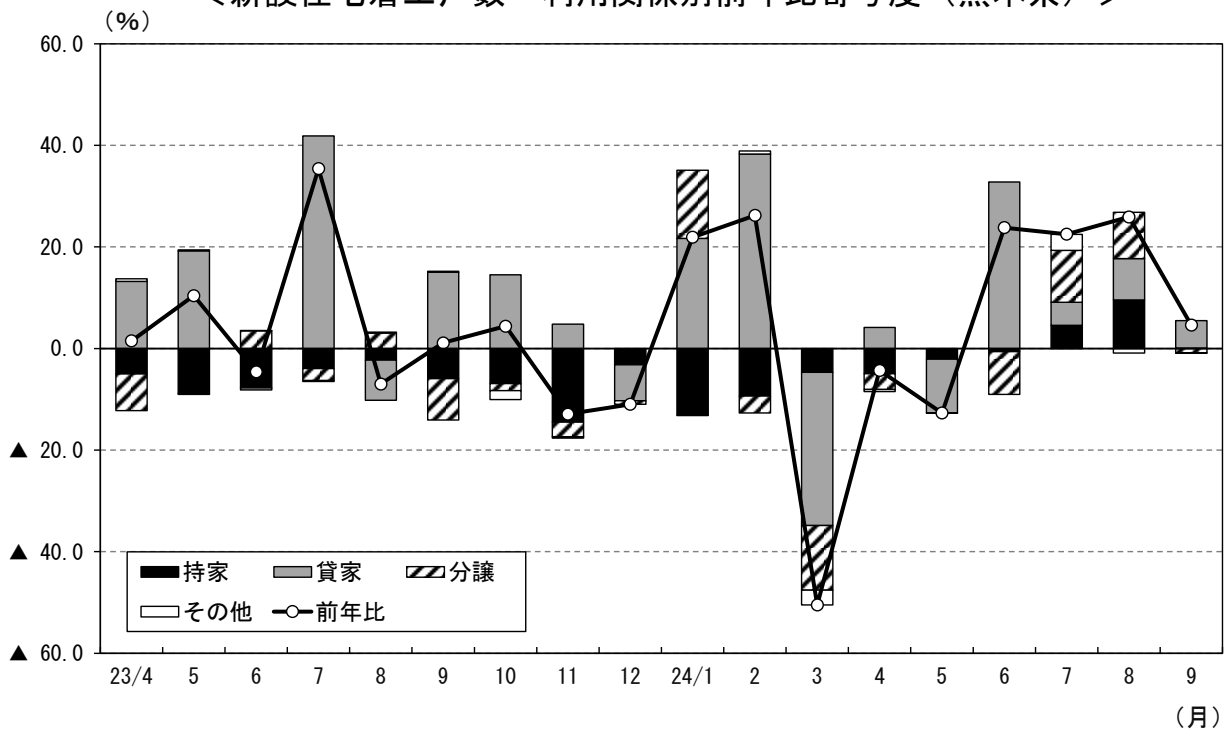


3. 住宅投資

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

9月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に、前年を上回った（9月：前年比＋4.6％）。

＜新設住宅着工戸数・利用関係別前年比寄与度（熊本県）＞



＜新設住宅着工戸数（熊本県、年度ベース）＞



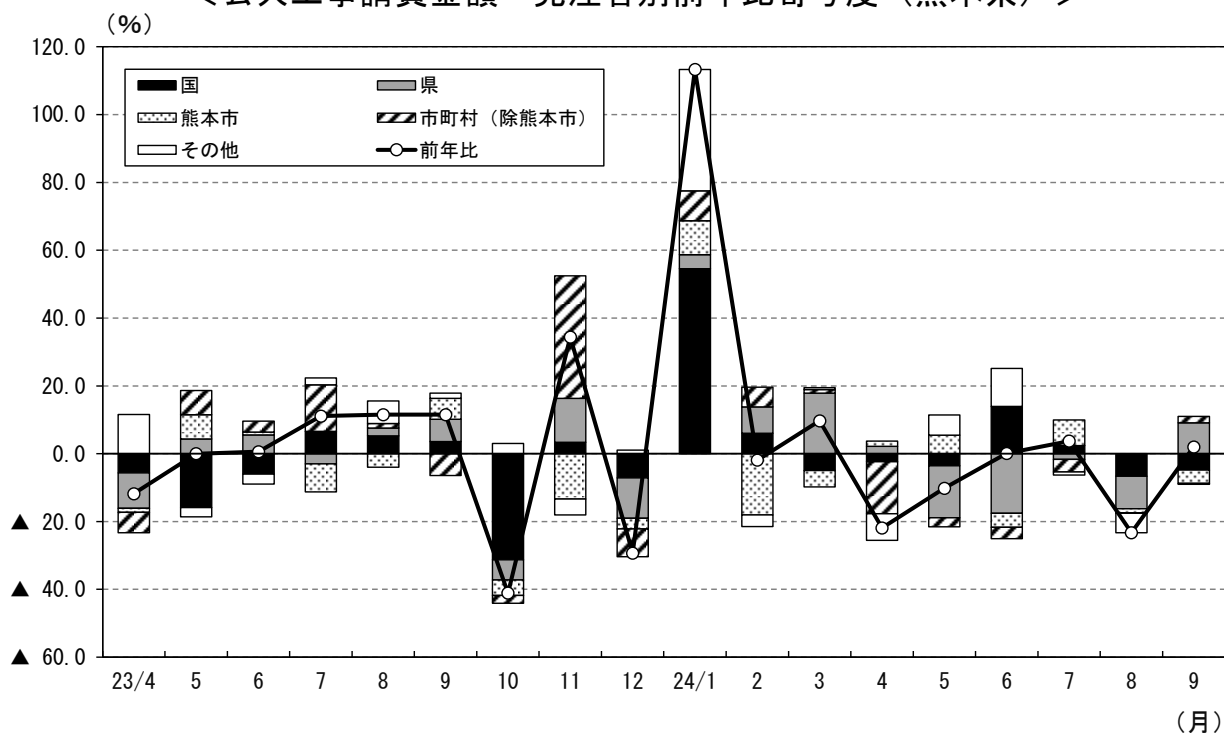
（出所：国土交通省）

4. 公共投資

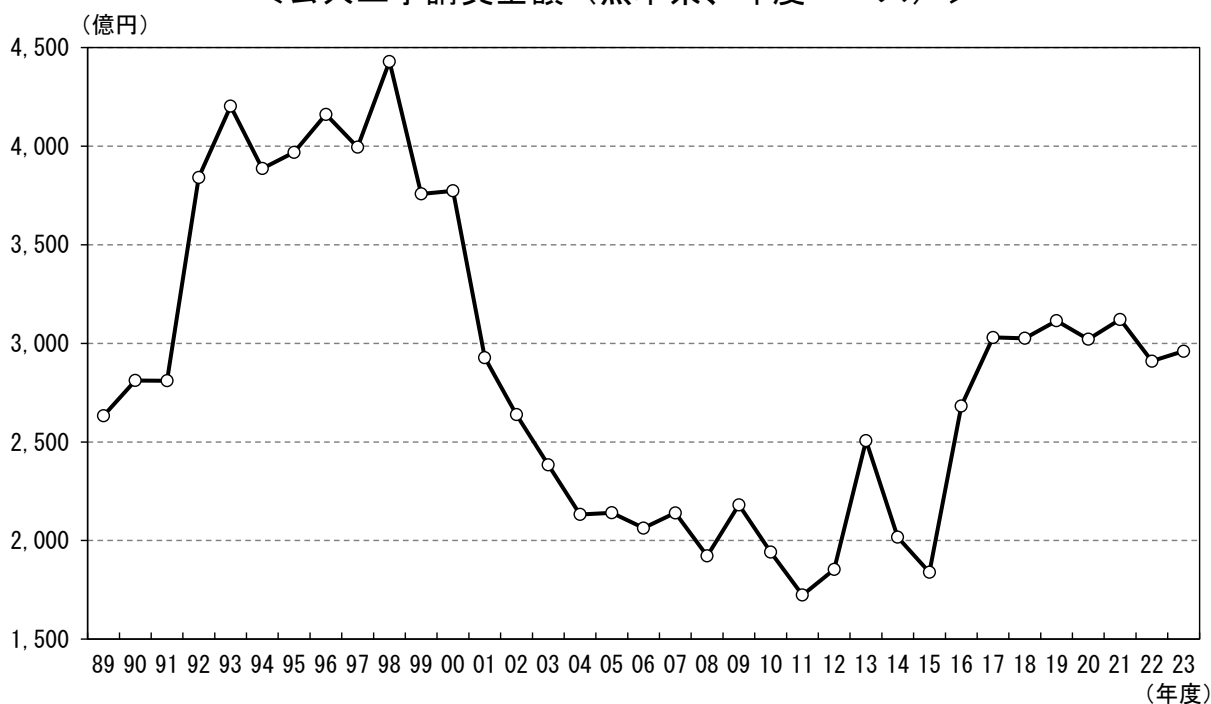
公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

9月の公共工事請負金額は、県を中心に、前年を上回った（9月：前年比+2.0%）。

＜公共工事請負金額・発注者別前年比寄与度（熊本県）＞



＜公共工事請負金額（熊本県、年度ベース）＞



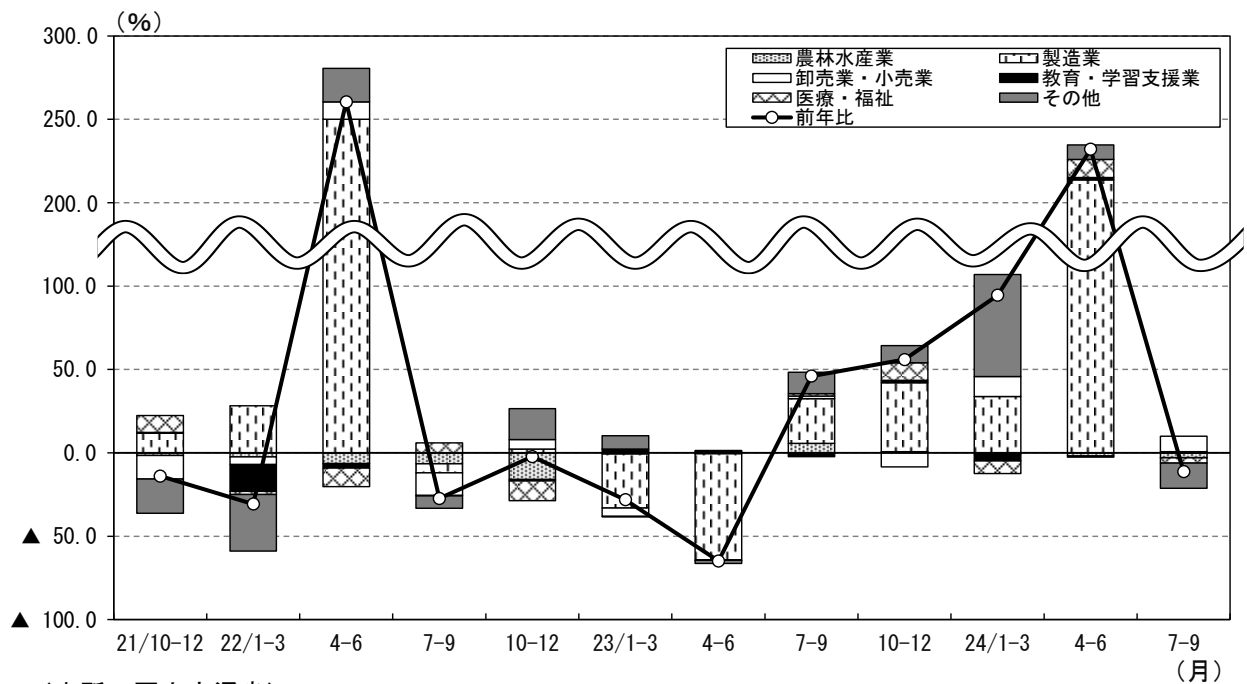
（出所：西日本建設業保証）

5. 設備投資

設備投資は、はっきりと増加している。

9月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、その他を中心に、前年を下回った（9月：前年比▲4.9%）。

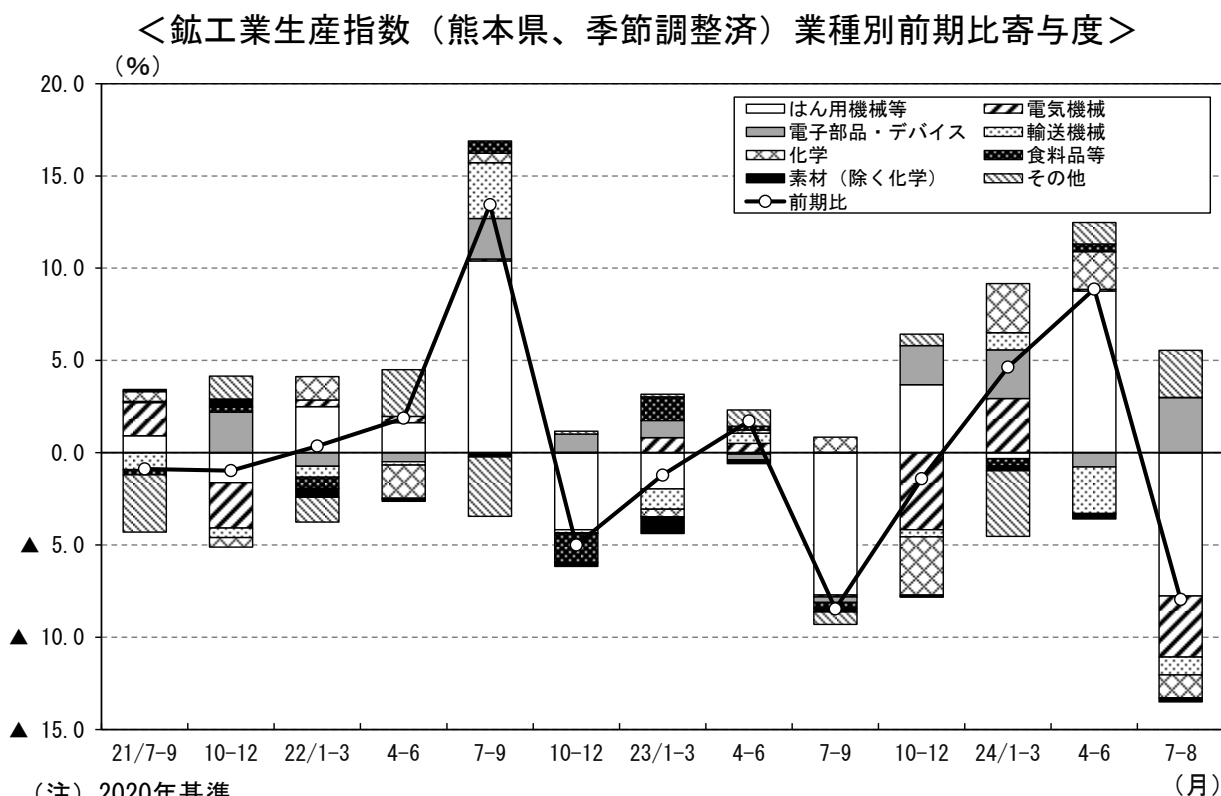
＜建築着工床面積・用途別前年比寄与度（熊本県、非居住用・民間）＞



6. 生産

生産は、高水準で推移している。

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学を中心に、前月を上回った（8月：前月比+12.4%）。



(注) 2020年基準。

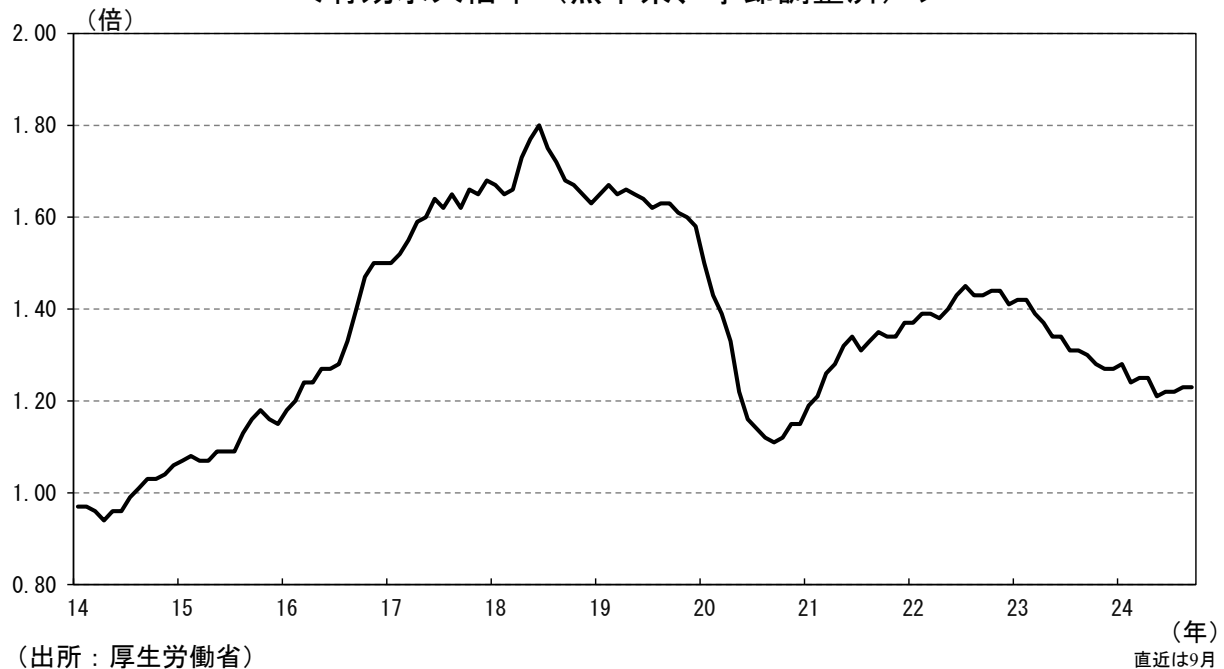
(出所：熊本県)

7. 雇用・所得

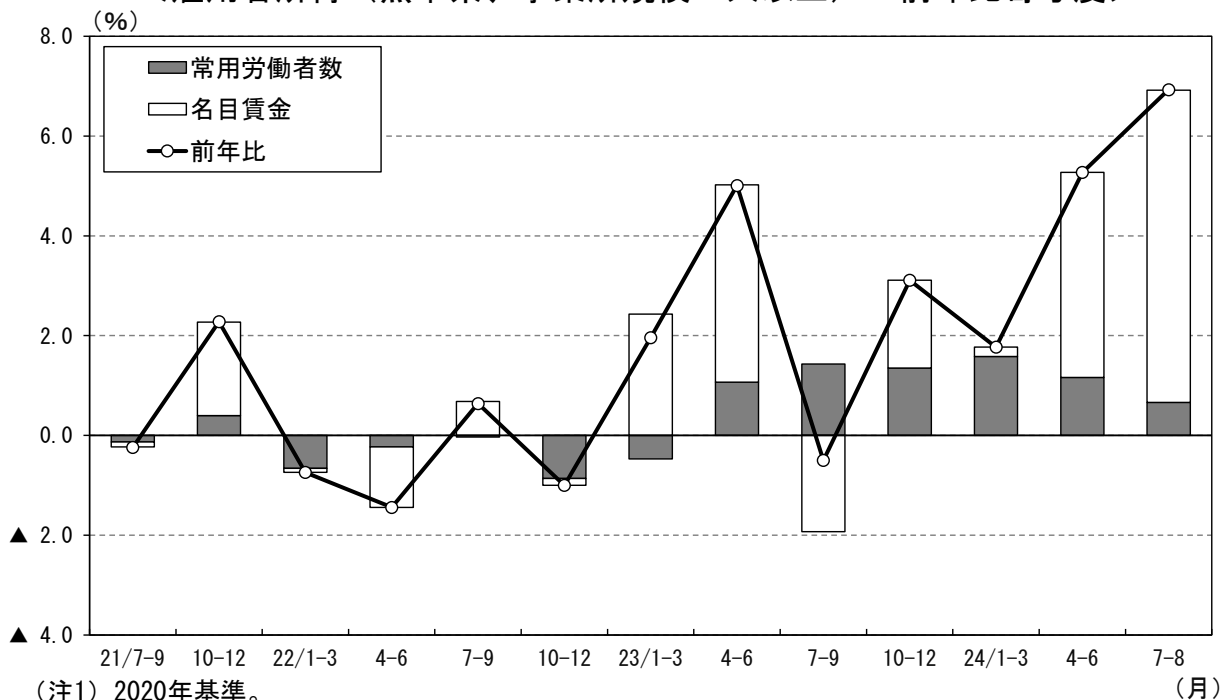
雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

9月の有効求人倍率（季節調整済）は、前月から横ばいとなった（9月：1.23倍）。

＜有効求人倍率（熊本県、季節調整済）＞

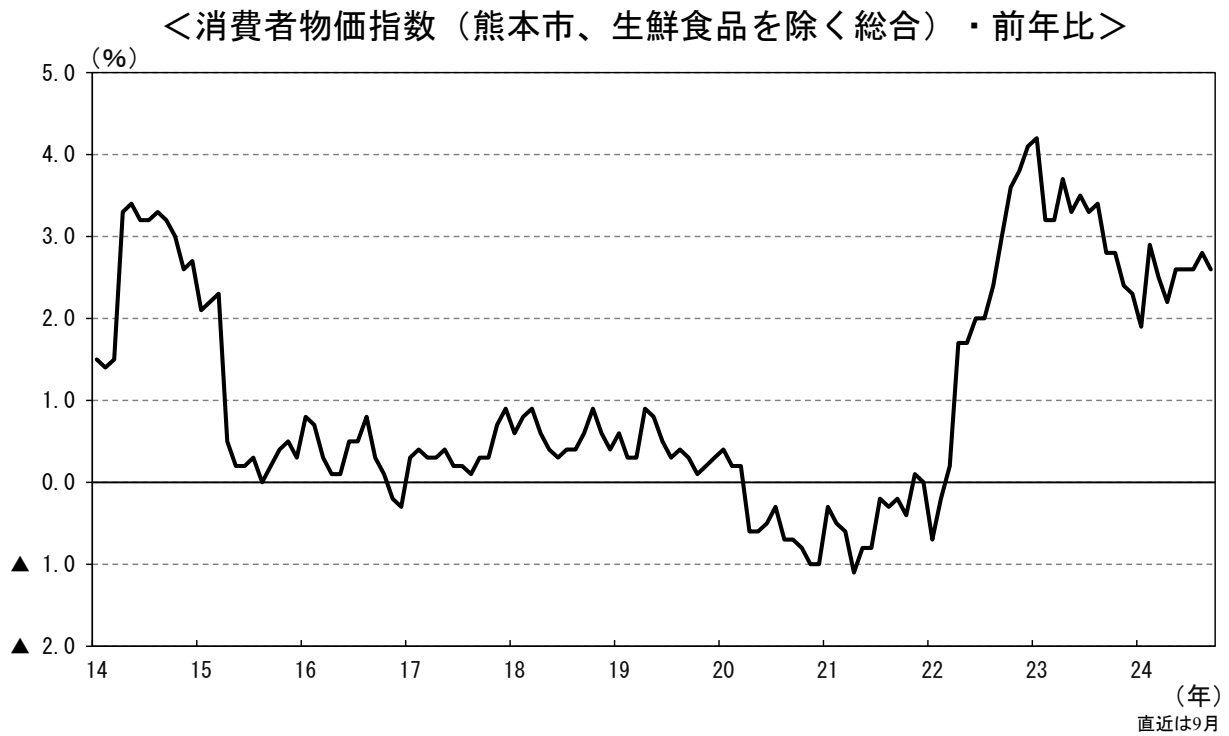


＜雇用者所得（熊本県、事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞



8. 消費者物価

9月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（9月：前年比＋2.6％）。



(注) 2015年12月迄は2010年基準、2016年1月～2020年12月は2015年基準、2021年1月以降は2020年基準。

(出所：総務省)

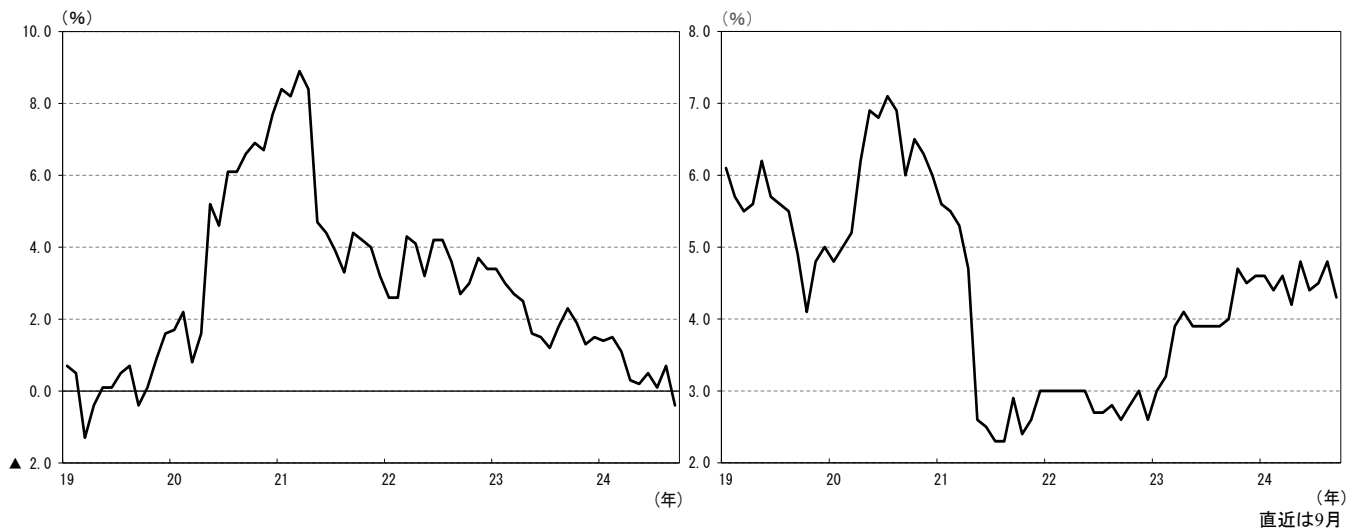
9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

9月の預金（実質預金＋譲渡性預金）は、前年を下回った一方、貸出金は、前年を上回った。

8月の貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、前月から上昇した。

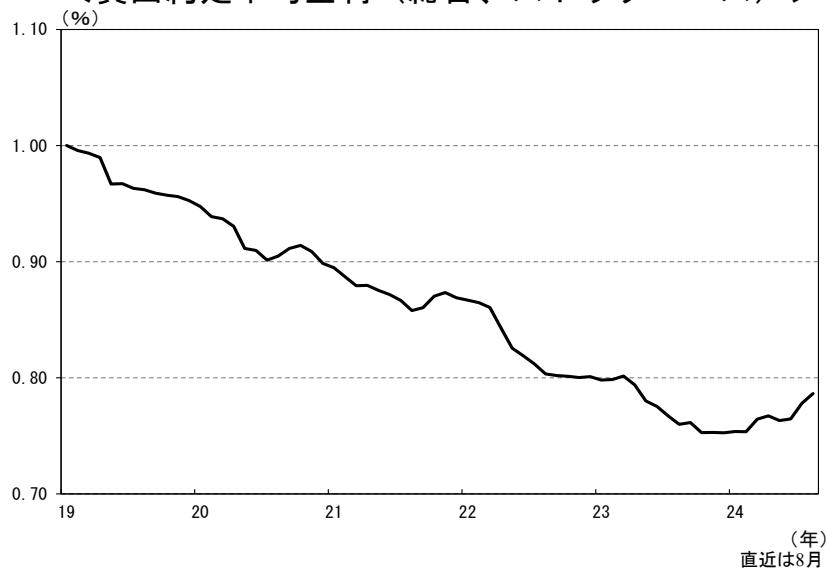
<預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比>

<貸出金前年比>



(注) 熊本県内国内銀行ベース。詳細な定義は、本行本店HPの「預金・現金・貸出金、預金者別預金、貸出先別貸出金の解説」における、「Ⅲ. 都道府県別預金・現金・貸出金<月次調査>」を参照。

<貸出約定平均金利（総合、ストックベース）>

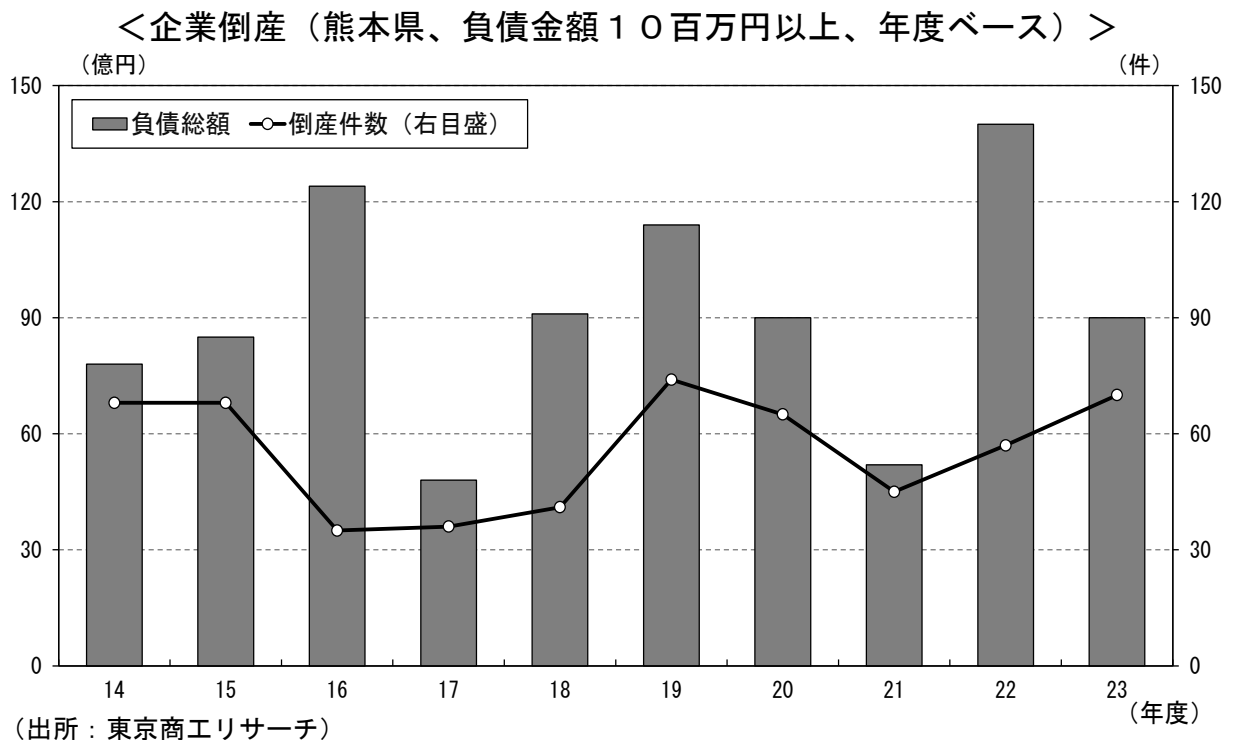
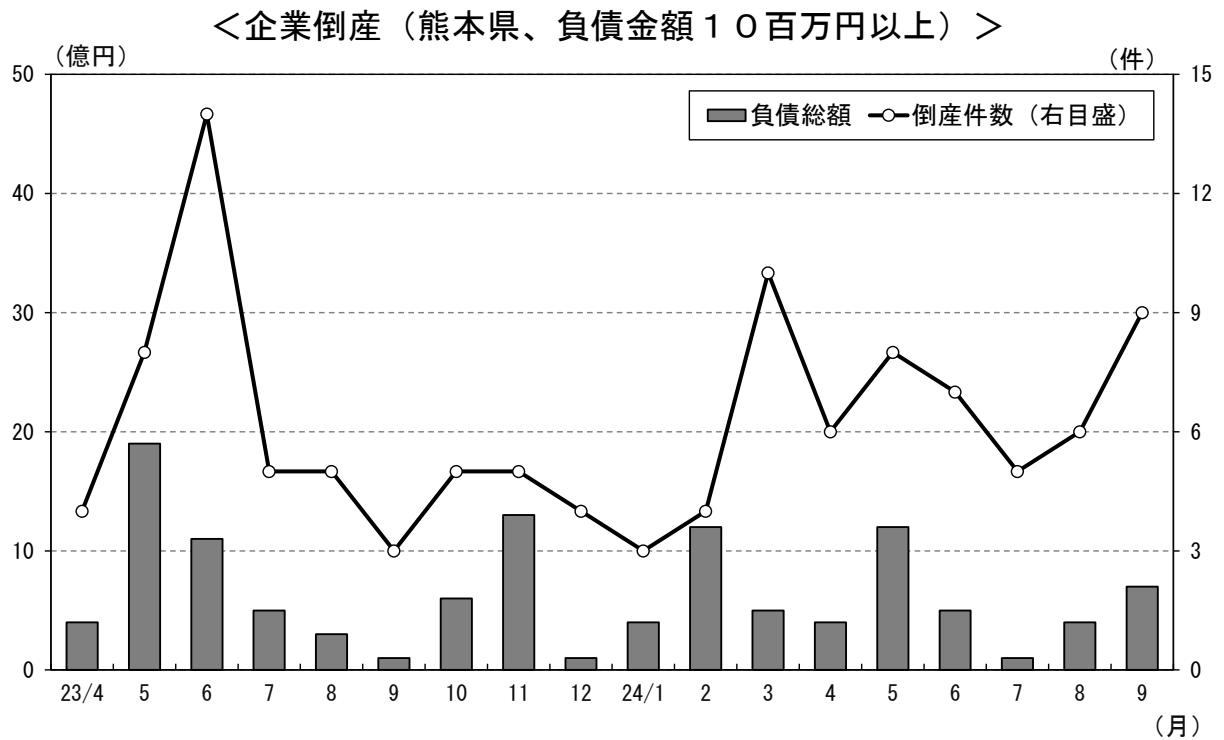


(注) 熊本県内に本店を有しており、かつ日本銀行と当座預金取引を行っている銀行・信金の貸出約定平均金利（総合、ストックベース）を加重平均したもの。詳細な定義は、本行本店HPの「貸出約定平均金利の推移の解説」を参照。

(出所：日本銀行、日本銀行熊本支店)

10. 企業倒産

9月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。



以上